

# 豊かな実りを願う「春大祭」 雨を呼び起こした神を祀る

# 泉殿宮



古来は吹田の氏神様として  
農耕の神である宇迦之御魂大神を祀っていた。  
ある年、干ばつに見舞われ、  
困った民は雨乞いを。すると…。  
この逸話にまつわる踊りが奉納される  
「春の例大祭」取材した。

「雨乞いの社」といわれる所以は、  
古くから伝わる話にある

阪急「吹田駅」から歩いてすぐにある  
『泉殿宮』（以下「同宮」）。1000年以上  
の歴史を持ち、厄除け、また水に縁の深  
い神社として親しまれている。昨年10月  
に改修工事が完了したという本殿は、陽  
がさすと屋根の銅色がキラキラと輝く。

境内には江戸期製作の素晴らしい「地  
車」や、東洋初のビール工場「建設の  
きっかけとなった『泉殿霊泉跡』。そして  
1970年（昭和45年）の「日本万国博覧

会」で同宮宮司が地鎮祭や立柱祭などの  
斎主を奉仕し、無事の成功を祈り実際使  
用した「元柱」が祀られている。

ざっと見渡すだけでもワクワクする  
エピソードが満載の神社だ。

今回、同宮について話してくれたのは  
36代目宮司の宮脇一彦さん。

869年（貞観11年）、近畿一円は干  
ばつに悩まされていた。

当時の清和天皇は、厄除けで名高い、  
『広峯神社』（姫路市）の建速須佐之男大  
神を遷し祀り、京都の守護神として事  
態を終息させようと考えた。大神をお



宮司 宮脇一彦さん  
大学時代は弓道部に所属。  
祭事で弓を披露することもあるそう。

乗せした神輿は「八坂神社」（京都市）に  
向かう途中、しばらく同宮に滞在。「一

## 神輿やふとん太鼓、稚児行列： 吹田の春を彩る華やかな祭絵巻

毎年5月2日、3日に五穀豊穡を望む  
祈年祭「春大祭」が行われる。

一般的には収穫感謝祭である秋祭をメ  
インとする神社が多い。しかし水に縁あ  
る同宮では、田植えの時に恵みの雨を  
願うというもともと大切な祭儀なのだ。  
毎年様々な奉納行事が予定されている。

6地区ある氏地が毎年交代で奉仕、法  
被を着た人たちが神輿やふとん太鼓を  
引きながら、渡御列を成す。先頭の神輿

はトラックを使って巡幸（写真①）、総勢  
200人以上の人が御旅所を目指して  
神崎川付近まで練り歩く。これはなかな  
かの迫力だ。ふとん太鼓は四隅に獅が付  
いており、とても立派なもの（写真②）。  
高麗な装束を身に着けた猿田彦、鮮やか  
な衣裳の右大臣左大臣稚児もいて（写真  
③）、参道には毎年多くの見物客が。各々  
がこの祭りを楽しみにしている気持ち  
がうかがえる。神輿やふとん太鼓は「春  
大祭」で見られる。吹田の春の風  
物詩、これは一見の価値あり。ぜひ訪れ  
てもらいたい。

## 傘踊りと一体になった 獅子舞はこの辺りならではの

「春大祭」では、吹田市の地域無形民俗  
文化財として登録されている「泉殿宮神  
楽獅子」も神前奉納される。こちらは元  
旦、「春大祭」、「吹田まつり」、「夏大祭」、「秋  
大祭」と年5回。春は5月2日の宵宮の際  
に執り行われ、3日の渡御列にも加わる。  
「須佐之男神の霊験によってもたら  
された雨を見て喜んだ子どもたちが、  
次々と傘を持って踊り出した。その姿を  
表現したのが『泉殿宮神楽獅子』なん  
です」と話してくれた宮脇宮司。

賑やかな笛や太鼓、鈴の音に合わせて  
3頭の獅子頭が軽やかに舞い、その後  
傘を持った子どもたちが続く。陽気で快  
活な様子から、当時の民衆の喜びが伝  
わってくる。珍しい舞に思わず見入っ  
てしまう。

地区同士が支え合い、お年寄りから小  
さな子どもまで幅広い人たちが参加す  
る「春大祭」。地域の繋がりが、世代を超  
えて生まれるコミュニケーションが伝  
統を守っている。これからも地元で活  
力を与え、吹田の歴史を刻み続けてく  
ることだろう。



1



3



2

1 神輿は神様がお出掛けする時の乗り物。近  
頃は担ぐのではなく、トラック2台に乗せ、  
地域をまわる。2 一番上に5枚の赤い座布団、  
その下の台には太鼓がある。本来は担ぐもの  
だが、車輪があり綱で曳航して渡御列の先頭  
を行く。3 神様のご加護を受けると言われる  
稚児。かわいらしい行列に見物客たちも笑顔  
がこぼれる



▲「泉殿宮神楽獅子保存会」の演舞。  
獅子舞だけではなく、傘踊りも  
あるのが見どころ



全国的にも貴重な「地車  
えびす」。地元、西の庄町  
の地車に祀られている。左  
右の柱巻や三枚板に施さ  
れた彫刻は当時の職人の  
技術を感じる。

### 吹田戎神社



雨乞いの際に湧き出  
たという清水。非常に水  
の質が高く、1889年  
（明治22年）、ドイツのミュ  
ンヘンに水を送ったこと  
ろ、ビール醸造に適水で  
あると評価を受けたこと  
で、同宮の隣に、東洋初  
のビール工場（現「アサ  
ヒビール吹田工場」）が建  
設された。時は流れ、昭  
和30年代には水田が宅地  
となって、地中奥深くに  
水脈を移し、今は湧水し  
ていない。

### 泉殿霊泉跡

## 泉殿宮

住 所：吹田市西の庄町 10-1  
アクセス：阪急「吹田駅」徒歩2分  
JR「吹田駅」徒歩10分  
TEL：06-6388-5680 HP：http://www.idudono.jp

### 春大祭

5月2日（火）「宵宮」  
19：00～「泉殿宮神楽獅子保存会」神前奉納  
5月3日（祝・水）「本宮」  
10：00～氏子奉幣祭、13：00～自動車列、14：00～渡御列、19：00～御礼参り